

「科学作品展」 ～千葉県児童生徒・教職員科学作品展結果～

9月10日(土)、11日(日)の市内科学作品展には、市内各学校から選ばれた425点もの力作が展示され、2日間で、約1,700人の来場者がありました。たくさんの御来場ありがとうございました。

市内科学作品展において優秀であった作品を、10月15日(土)、16日(日)に千葉県総合教育センターで開催された「千葉県児童生徒・教職員科学作品展」に出品しました。受賞作品は右記のとおりです。おめでとうございます。



Table with 6 columns: 部門, 賞, 作品名, 学校名, 学年, 氏名. It lists 9 award-winning science projects from various schools in Chiba Prefecture.

能登の自然体験学習ツアー

7月26日(火)～29日(金)に3泊4日で能登の自然体験学習ツアーを実施しました。市内の小学5・6年生30名が参加し、普段流山市では体験できないような素晴らしい体験をすることができました。

「能登の海は透き通っていて、とてもきれいで、かにややどかり、フグなど多種多様な生物がいました。そして、スノーケリングで実際に海の中を見て、とても感動しました。優雅に泳ぐ魚、太陽に照らされて輝く海藻。この光景を見た時、心が動きました。」

「能登の自然にとっても癒されました。この癒しは流山市での生活の活力になります。少し疲れた時は能登の自然を思い出してがんばります。また能登に行きたいです。」



常盤松中学校 輪島サマンサさん

Table with 4 columns: 部門, 学校名, 氏名, タイトル. It lists the winners of the English speaking competition at the Higashi-Geiki branch school.

流山市青少年主張大会

9月28日(水)、流山市文化会館ホールで流山市青少年主張大会が開催されました。市内の全中学校と、高校の代表者が集い、一人ひとり自分の思いを堂々と発表する姿が見られました。

中学生の部では、「個性という宝物」をテーマに発表した、流山おおたかの森中学校3年生の朝日悠貴さんが最優秀賞を受賞しました。朝日さんは、「誰もが生きやすい社会」について改めて考え、互いの気持ちを確認合うことの大切さを訴えました。

来年度もまた、自分の考えや思いを伝える機会として、多くの生徒の皆さんが挑戦してくれることを期待しています。



プログラミング教育

本市のプログラミング教材 toio™ (トイオ※以下 toio™) は、株式会社内田洋行、株式会社ソニーインタラクティブエンタテインメント、東京理科大学の産官学が連携した先進的統合型プログラミング教育の実践として導入されました。

本市では、小学校1年生から中学校3年生までの9年間、それぞれの発達段階に応じた系統的な教育の実現を目指して、プログラミング教材である小型ロボット toio™ を活用しております。

本年9月より、東京理科大学の学生のサポートを受けながら、市内の各小中学校にて、算数科や総合的な学習の時間、技術科等の授業に toio™ を活用した学習を行っています。学習に取り組む中で、中学生からは「思い通りに動かすためにどうすればいいのか何度もチャレンジし、そこに楽しさを感じました。」や「今まで経験したことがない、技術科ならではの貴重な体験であった。」など、小学生からは「指示通り、ロボットが動いた時『できた。』という達成感を味わうことができた。」「すぐにあきらめずに、何度も挑戦することを心がけるようになった。」など、子どもの声を聞くことができました。

今後も toio™ の活用をとおして、児童生徒のプログラミング的思考を育む学習に取り組んでまいります。



教育な が れ や ま

第85号 編集発行 流山市教育委員会 TEL 04(7158)1111

「寛容さ」について



流山市教育委員会教育長 田中 弘美

流山市青少年主張大会が3年ぶりに、有観客で開催されました。

市内各学校の代表として、中学3年生10名、高校生3名が、日頃考えている事や思いを堂々と発表しました。本大会は、同世代の青少年はもとより、一般の方々にも若者の意見を広く伝える機会として、また若者への理解と関心を深める場として企画されています。今年度は、市内公立高等学校の生徒も参加してくださいました。

それぞれの発表内容は、個性や自分らしさ、命の重さ、多様性を認めることなど、テーマは様々でしたが、共通する点がいくつかあったことに気づきました。

その一つが、「寛容さ」を持つ、ということです。

- 「寛容」とは ①広い心を持ち、他を受け入れるさま ②自分とは異なる意見や価値観を安易に拒絶せず許容する

といった意味があります。心理カウンセラーの下園 壮太氏によれば、「寛容さ」は、その人の心身の状態によって幅があるとされています。

例えば、自分が精神的に安定していて、身体も疲れていない時であれば、ある程度の問題に対しても、相手を許すことができる余裕があるといえます。しかし、自分自身の心身が疲れている状態の時に相手に寄りかかると、ついつい相手を拒絶しがちになってしまう…。つまり、心身のコンディションがよければ、寛容な気持ちを保ちやすくなるということかと思えます。寛容である方がポジティブであり、「寛容さ」とはつまるところ、許容範囲が狭いか広いかだけの話ではないかともいえるようです。

これまでの価値観を変えるのはなかなか難しいことですが、考える角度を変えることで、冷静に周りを見渡すことが可能になり、いろいろなことを受け入れる度量も大きくなるのかもしれない。そして、意識的に世の中を見る「視点」を操作することで、「自分とは違う人がいる」→「自他の尊重」→「多様性への尊重」へ繋がっていくのではないかと思います。

「見方を変える視点(抜粋)」

- 1 自分を見つめ直す視点 自分の本来の目的は何か。疲れていないか。自分の他者への見方が偏っていないか等考える。
2 相手の視点 相手の立場で見ると納得できることは多々ある。
3 第三者の視点 客観的な視点から見て、相手とのトラブルはどう見えるか想像してみる。
4 時間軸の視点 半年後、1年後どうなっているか想像する。過去のトラブルは今振り返ると些細なものに思えてくる...
5 感謝の視点 自分の成長のために吸収できることや気付くことがないか、感謝できることはないか、考えてみる。

社会を見渡しても、暗いニュースが多く、人と人との関係がギスギスしているような傾向を強く感じることも多々あります。子どもたちの世界にも決して無関係ではありません。そのような現状の中で、寛容さを持ち、お互いを認め、受け入れていくことができる大人でありたいと思います。子どもは、社会のカガミであり、大人のカガミでもあります。「寛容さ」を保ち、子どもたちに手を差し伸べることを心に留めていただければと思います。

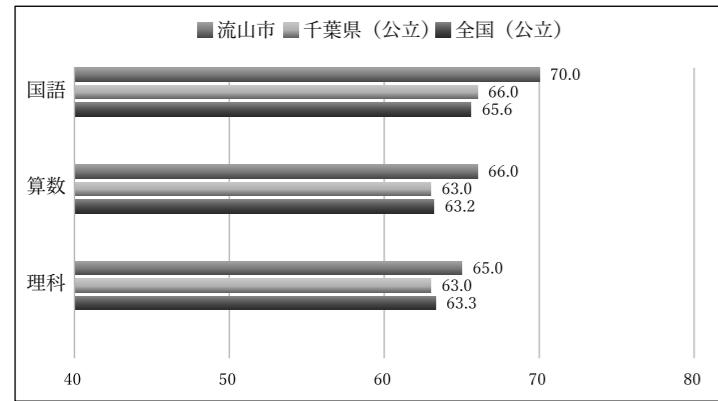
小学6年生・中学3年生対象 全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）の結果

<小中学校ともに、平均正答率が全教科で全国・県平均を上回る>

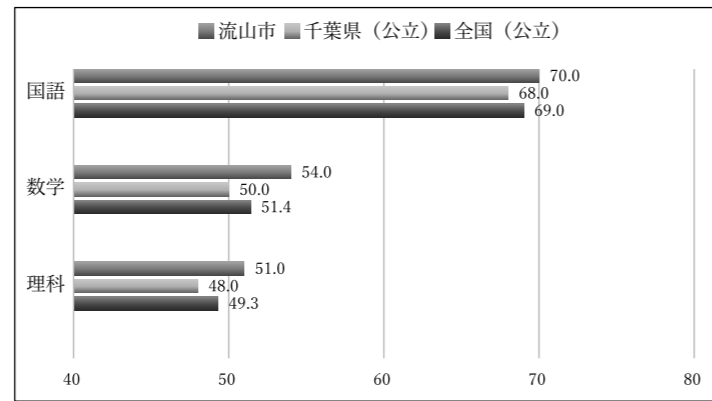
文部科学省により、全国の小学6年生・中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今回は、理科に関する調査も行われました。

小中学校ともに、平均正答率が全教科で全国・県平均を上回りました。また、直近5年間の調査でも、常に全国・県平均を上回っており、小中学生の学力が高水準で推移していることがわかります。

▼令和4年度 小学校 国語・算数・理科 平均正答率 (%)



▼令和4年度 中学校 国語・数学・理科 平均正答率 (%)



▼小学校平均正答率 5年間の推移 (%)

小学校	H29	H30	R1	R3	R4
全国(公立)	64	60	65	68	64
千葉県(公立)	64	59	65	68	64
流山市	66	63	69	71	67

▼中学校平均正答率 5年間の推移 (%)

中学校	H29	H30	R1	R3	R4
全国(公立)	66	63	63	61	57
千葉県(公立)	65	62	62	61	55
流山市	68	66	65	64	58

<学習・生活習慣に関する質問紙の回答状況>

学習・生活習慣などに関する質問における学習につながる回答においても、全国・県平均より高い結果となりました。

「普段(平日)、1日に2時間以上勉強している」

(小:流山 29.8%, 県 25.8%, 国 25.1% 中:流山 40.2%, 県 37.1%, 国 35.2%)

「普段(平日)、30分以上読書している」

(小:流山 39.3%, 県 38.4%, 国 36.4% 中:流山 29.1%, 県 29.1%, 国 27.3%)

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」

(小:流山 81.3%, 県 79.3%, 国 80.1% 中:流山 80.1%, 県 77.5%, 国 78.7%)

<学校・地域・家庭の連携サイクル>

各学校では、主体的・対話的で深い学びに向けた授業を実践しています。また、子どもたちの学びに向かう力を育むために題材を工夫し、授業のねらいに応じてタブレットを効果的に活用しています。読書活動においては、各学校が工夫して取り組み、ブックトークを取り入れたり、いつでも本に触れられるように校内に移動図書館を設置したりしています。さらに、地域の方による読み聞かせや学習補助の活動を取り入れている学校もあります。

子どもたちは、日々の学習活動を通して主体的に物事を調べ、対話を通して学びを深め、周りと協力しながら課題を解決しています。タブレットを用いて、自分の考えを簡潔にまとめたり、学級全体の考えを共有して自分の考えを一層深めたりしています。さらに、家庭学習を通して、自分で考えて課題を解決しようとする力が育まれています。

これからも、子どもたちの心に寄り添い、学校・地域・家庭が連携して教育活動を推進していけるように努めてまいります。

流山市の子どもたちの活躍!

全国中学校総合体育大会入賞者

葛北支部中学校総合体育大会では、どの競技も熱戦を繰り広げ、素晴らしい活躍が見られました。葛北支部を代表する選手たちは、千葉県中学校総合体育大会でも持てる力を存分に発揮し、関東大会へ15名、全国大会へ6名の選手が出場しました。

〈全国大会入賞者の声〉

○第53回全国中学校柔道大会

南部中学校 佐藤 朱 女子40kg級 第3位
「『誰にも負けない』という気持ちで臨んだ。勝つことしか考えていなかった。」

○第49回全日本中学校陸上競技選手権大会

常盤松中学校 上杉 敦史 男子共通3000m 第7位
「スタート前は緊張したが、レースは楽しかった。この経験を生かして、これからは頑張りたい。」

○第62回全国中学校水泳競技大会

南部中学校 佐野 祐菜 女子200mバタフライ 第8位
「自分の力を出し切ることができなかった。来年からインターハイの決勝で戦えるような力を身につけていきたい。」

第22回東日本学校吹奏楽大会

10月8日(土)、府中の森芸術劇場(東京都)で第22回東日本学校吹奏楽大会が開催されました。南部中学校と北部中学校が、千葉県大会・東関東大会の厳しい審査を通過し、東関東支部の代表として出場しました。南部中学校は金賞、北部中学校は銀賞を受賞するという素晴らしい成績を取めました。

【演奏曲名】

南部中学校:ゾウの足 ~1986.4.26 チェルノブイリ原子力発電所事故による~

北部中学校:鳥之石楠船 ~吹奏楽と打楽器群のための神話



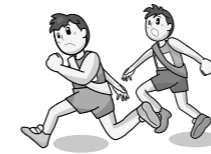
南部中学校

北部中学校

第74回東葛飾地方中学校駅伝競走大会

10月15日(土)、第74回東葛飾地方中学校駅伝競走大会が3年ぶりに開催され、東葛飾地方の中学校全73校が出場しました。選手たちは全長31.9km10区間のコースを駆け抜けました。どの選手も、母校への誇りやこれまでの練習の中で得た様々な思いを襷に込めて、粘り強い走りを見せてくれました。流山市の学校は、新設校のおおぐろの森中学校を含め、全10校が出場し、襷をつなぐことができました。

主な結果については表の通りです。



順位	学校名
第3位	常盤松中学校
第5位	北部中学校
第6位	南部中学校

第70回流山市小学校陸上競技大会

5月19日(木)、県立柏の葉公園総合競技場で第70回流山市小学校陸上競技大会が行われました。大会には市内の小中学校全17校が出場しました。選手たちは、これまでの練習の成果を存分に発揮しました。また、自分の競技だけではなく、仲間を一杯応援する姿も見られました。

当日は天候にも恵まれ、3年ぶりとなる保護者の温かい応援により、大会は大いに盛り上がりました。



【総合結果】

部門	優勝	準優勝	3位
男女総合	小山小学校	東小学校	長崎小学校
男子	江戸川台小学校	長崎小学校	東小学校
女子	小山小学校	東小学校	八木南小学校

【新記録】

氏名	学校名	種目	記録
小野寺 泰蔵	長崎小学校	男子共通ポールスロー	67.40m

第60回流山市小中学校音楽発表会

10月19日(木)、20日(金)の2日間にわたり、キッコーマンアリーナで第60回流山市小中学校音楽発表会を開催しました。市内の小中学校全27校が2日間に分かれ、練習の成果を発表し合いました。鍵盤ハーモニカ・和楽器など様々な楽器を取り入れたり、ダンスなどのパフォーマンスがあつたりと、各校趣向を凝らした演奏が会場中に響き渡り、とても楽しい会となりました。また、たくさんの方にも演奏を聴いていただく機会となりました。

3年ぶりの開催となりましたが、子どもたちにとってお互いの演奏を聴き合うことができる有意義な時間となりました。

今後、ますます素敵な音楽が創られていくことが楽しみです。



第16回流山市小学校ミニバスケットボール大会

10月27日(木)、11月2日(水)にキッコーマンアリーナで第16回流山市小学校ミニバスケットボール大会を3年ぶりに開催し、市内の小中学校全17校が熱戦を繰り広げました。

今年度から、17校を抽選で2つのブロックに分け、8校と9校それぞれで優勝を争う形式となりました。6年生にとっては初めて最後の大会となりましたが、チーム一丸となり、精一杯プレーする姿が見られました。両日とも、笑顔あり、涙ありの感動あふれる試合が展開され、実りの多い大会となりました。また、大会の開催にあたり、千葉県ミニバスケットボール連盟の方々、江戸川大学バスケットボール部の皆さまに審判をはじめ、大会運営に御協力いただきました。結果については以下の通りです。

	10月27日(木)		11月2日(水)	
	男子	女子	男子	女子
優勝	おおたかの森小学校	流山北小学校	小山小学校	東深井小学校
準優勝	向小金小学校	向小金小学校	東小学校	東小学校
第3位	江戸川台小学校	西深井小学校	西初石小学校	西初石小学校
第3位	八木北小学校	八木北小学校	新川小学校	流山小学校